

令和7年度 第6回 谷浜・桑取区地域協議会

次 第

日時：令和8年2月10日(火)午後6時30分～

会場：谷浜・桑取地区公民館 2階 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的な審議】

・自主的審議について

4 その他

・次回地域協議会

令和8年 月 日 () 午後6時30分～ 谷浜・桑取地区公民館

5 閉 会

令和7年度第6回 谷浜・桑取区地域協議会

自主的審議について

令和8年2月10日(火)

■様子を見ながら地域協議会として



関わっていくもの

ア. 伝統行事、史跡、文化の継承について

イ. 地域で行われている行事について

→12/17小学校里神楽発表会、1/14-15小正月行事

ウ. 学校を取り巻く環境について

エ. 移住・空き家対策について

→上創研:地区別まちづくり推進事業

オ. くわどり湯ったり村について

→3月 (株) ゆめ企画名立との意見交換に向けて

ア. 伝統行事、史跡、文化の継承について

イ. 地域で行われている行事について

- 令和7年12月17日(水)
谷浜小学校里神楽発表会

- 令和8年1月14・15日
西横山小正月行事



地域協議会委員間で共有しておきたいことを発言してください！

ア. 伝統行事、史跡、文化の継承について

イ. 地域で行われている行事について

9月24日(水)第3回地域協議会 意見

- ・城ヶ峰砦を活かして収益につなげる。地域外のファンの取り込み。
- ・草刈り整備に若い人にも参加してもらおう仕掛けが必要。
- ・まだ残っている町内会の盆踊りの日程を共有し、他町内からの参加の輪を広げる。経験者がいるうちにやってみる。

10月17日(金)第4回地域協議会 意見

- ・月満夜の里神楽は大人が子どもに神楽を継承し、続いている谷浜・桑取区の誇れる財産。
- ・多くの人を訪れる機会飲食販売等を行うことで地域活動の原資とできないか。
- ・イベントの趣旨や実施団体の意向を尊重しつつ、行事を継続させるための資金・人材について地域内で話題にしていく。

11月18日(火)第5回地域協議会 意見

- ・くわどり秋の収穫祭は続けているからこそ浸透し、お客さんが来ているのではないか。
- ・入手が難しく、貴重なものを求めて人が来ている。天然の山芋が目玉になっている。協力して収穫し、販売の目途がたてば、大きなPR材料になるだろう。



令和8年度は、具体的にできそうなことを検討し、動きを出していく

ウ. 学校を取り巻く環境について エ. 移住・空き家対策について

★上越市創造行政研究所 持続可能な地区別まちづくり推進事業

令和7年度 板倉区ワークショップ プログラム

日時	内容
キックオフフォーラム 8月19日(火) 午後6時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	持続可能なまちづくりに向けた取組について ■藤山所長講演 ・人口安定化シナリオ、地元関係の確認 ・町内会ヒアリング結果の共有、事例紹介 <div style="text-align: right; color: red; font-weight: bold; font-size: 2em;">終了</div>
住民ワークショップ 【第1回】 9月17日(水) 午後6時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	地域の現状を把握する ■地元天気図作成 ①現状課題編 定住推進に向けて、地区の強み、弱み、 連携不足などの現状を「天気図」にまとめる 
住民ワークショップ 【第2回】 10月6日(月) 午後6時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	地域の目指す将来像を考える ■地元天気図作成 ②課題解決編 課題を解決する地域ぐるみのつなぎ直しを 具体的に「天気図」上に表現する ■具体的に取り組む3本柱、分野別項目の検討 
レゴワークショップ 10月中 会場・時間未定	地域の未来を「形」にしてみる ■レゴブロックを活用した子どもたちによる地域の未来の姿をつくる (板倉中学校)
住民ワークショップ 【第3回】 11月25日(火) 午後6時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	定住を実現するためのアイデアを出しあう 具体的に取り組む3本柱及び可視化した地区の 情報をもとに、分野別に取り組みを話し合い、 出された案をとりまとめる 
成果発表会 12月14日(日) 午後1時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	地域の未来について語る 本年度の予測や分析、検討結果を報告。 地域住民と情報を共有するとともに 取り組みの発表と意見交換 

○板倉区 成果発表会 を視察
 令和7年12月14日(日)
 参加委員からの報告

○谷浜・桑取区キックオフフォーラム
 令和8年4月 予定

オ. くわどり湯ったり村について



- 地域住民自身が「湯ったり村を地域のシンボルとして守りたい」という意識を持つことが重要。

地域の声を
集める

- 地域の思い出等、地域のシンボルであることを文字化する。
- まずは地域協議会内で意見出し  11/18地域協議会委員の意見を集約
- 地域協議会で「桑取会(くわどり湯ったり村応援隊)」等に今の実情を聞いてみる。

 桑取会、NPOかみえちご山里ファン倶楽部からの意見

ゆめ企画名
立に伝える

- これまで地域のシンボルとして利用してきたことを伝える
- これからも利用し続けるために意見を伝える

 3月中に意見交換を実施予定

地域とゆめ
企画名立の
協働

- 地域とゆめ企画名立が同じ思いで、湯ったり村を谷浜・桑取区のシンボルとして守っていく

ゆめ企画名立との意見交換に向けて→意見交換実施日：令和 8 年 3 月 5 日

地域住民にとつての湯ったり村	<これまで> A. 地域住民にとつての役割 B. 湯ったり村があるからできたこと	<これから> 湯ったり村をどう使っていきたいか
地域が交流する場所 【地域協議会委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の懇親の場。各種総会、役員会、納涼会、忘年会など地域内の団体、高齢者サロンや輪投げ大会等で月に 1-2 回は地域団体が利用。小中学生の懇親の場でもあり、思い出の場所になっている。 ・行けば知っている顔に会う、季節ごとの景色を楽しみ、地元のよさを実感できる場所。 ・同窓会での利用。実家へ顔を出す機会も増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや行事の反省会は湯ったり村。気持ちよく使いたい。 ・地域行事や NPO とコラボし、PR を強化してほしい。 ・レストラン営業の休み時間があるため、自販機の設置等の対応。
地域を地域外に PR する場所 【地域協議会委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域外の人に谷浜・桑取区を知ってもらえる。 ・桑取の豊かな自然を他地域の方々に認知していただく。 ・その土地の空気に触れ、人に出会い、暮らしを少し覗き見できる ・湯ったり村があるから、谷奥まで人が足を運ぶ。 ・オートバイ団体の利用。道のりも楽しむ人がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来た人ががっかりしないように。お勧めしたいが、整っていない面や心配になる部分を感じる。 ・湯ったり村の独自性を打ち出す。くわどり湯ったり村といえ、これ！と言える名物を一緒に作りたい。 ・サイクリングを売り出すには、危険な箇所もある。危険個所の手入れ等、地域が協力できる部分があるのではないか。 ・学生合宿や外国人客を誘致し、地域も交流する。
地域の頼れる飲食店・宿泊施設 【地域協議会委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい時期に、家族で気軽に食事ができる。 ・親戚が帰省時に宿泊できる。催事に利用できる。 ・町内行事で仕出しを頼めて、配達してくれる。 ・地域活動の反省会・慰労会（食事・飲み会）を送迎付きでできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみてらす名立で得られるような満足感を、湯ったり村にも取り入れてほしい。 ・送迎サービスの充実、PR。 ・帰省客プラン(家事せずのんびり)で地元の活用を促す。
【地域協議会委員】		<ul style="list-style-type: none"> ・地域と意見交換する場を設けてほしい。宿泊や利用を断られた経験から、利用から遠のいている人もいる。 ・情報発信の強化。 ・道路や案内看板の整備。
【桑取会】	<ul style="list-style-type: none"> ・桑取会の総会等で利用。 ・くわどり湯ったり村応援隊として、年に 2 回草刈り。(応援隊活動後の有志慰労会を送迎付きで実施) ・近くの美味しい食事処としてレストラン利用、地域内の施設として愛着がある。一緒に盛り上げたい意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年貸切り利用してくれている団体とコラボした情報発信。 ・謙信公にちなんだ一義会による武禊式等、行事の復活。 ・景観は日頃の手入れを計画的に行い、ボランティア動員は普段できないところをメインに手伝う。顧客口コミへ対応する。 ・道路案内看板は桑取会設置の物を含め、見直しを進めている。
【NPO かみえちご山里ファン倶楽部】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民にとって利用しやすい施設（高齢者が増えていくので、送迎必須。バスが 7 人以上でないと乗れないという制限をつけてしまうと利用しにくくなる） ・当団体とのイベントや事業連携（広間、風呂、レストラン、駐車場）→昨年、休館日が急遽変わってしまい、お風呂利用ができなくなった。残念という声が多く聞かれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方からの声をしっかり聞いて運営に生かしていただきたい。 ・インバウンドや観光誘致イベントなどの提案があがっているが、まずは基本的な運営をしっかり行っていただきたい。